

# 保留金額が大きく、病院収益に影響

## 新型コロナ患者の入院公費 28 の 番号発出の遅れに係る 実態アンケート 概要

大阪府保険医協会病院部では「入院公費 28」の番号発出の遅れに関していくつかの病院より相談が寄せられており、取り急ぎアンケートを実施することになりました（以下 8/4 現在概要）。

■回答 60 件 / 510 病院 \*うちコロナ患者受入病院 40 病院

Q1. 病院が所在する保健所管区。

(府 保 健 所) 池田2 茨木1 守口2 四條畷2 藤井寺1 富田林2 和泉1 岸和田1 泉佐野3  
(政令市保健所) 大阪市23 堺市7  
(中核市保健所) 豊中市4 吹田市2 高槻市3 枚方市1 寝屋川市0 東大阪市5 八尾市0

Q2. 申請してから入院 28 の番号通知が出される平均的な期間。(近隣の保健所の傾向で結構です)

- 1 か月=守口、藤井寺、富田林、岸和田、泉佐野、堺市、東大阪市、八尾市
- 2 か月=池田、茨木、四條畷、富田林、和泉、泉佐野、堺市、豊中市、吹田市、枚方市、寝屋川市、八尾市
- 3 か月=池田、茨木、守口、四條畷、富田林、和泉、岸和田、泉佐野、大阪市、堺市、豊中市、高槻市、寝屋川市
- 半 年=大阪市 (9 件)、茨木、守口、和泉、豊中市、高槻市 (2 件)、東大阪市
- 半年~=大阪市 (21 件)、池田、守口、豊中市

## 番号発出の遅れで保留レセプト多いのは大阪市 そのうち 1 年以上は 14 病院、半年以上は 20 病院

Q3. 入院公費 28 の番号の発出遅れにより最も保留している期間が長いレセプト。

- 1 年以上⇒大阪市 14 件、東大阪市・堺市・茨木各 1 件
- 6 か月~11 か月⇒大阪市 20 件、豊中市 2 件、守口・池田・和泉各 1 件
- 3 か月~5 か月⇒大阪市 6 件、  
豊中市・高槻市・枚方市・東大阪市・堺市・泉佐野・岸和田各 1 件
- 3 か月未満⇒豊中市・泉佐野

## 総額 1 千万円以上が 39 病院、1 億円以上 10 病院

Q4. 入院公費 28 の番号通知の遅れによる保留レセプトの総金額。

- 2 億円以上=7 件 1 億円以上=3 件 5 千万円以上=6 件\* 1 千万円以上=23 件
- 500 万円以上=7 件 100 万円以上=3 件 100 万円未満=3 件 今はなし=1 件
- \*2021 年度とした回答 2 件 (いずれも 5000 万以上で) ※総件数も質問したが省略。

Q5. 特に保留レセプトの件数及び総額が大きい保健所は。

- 保健所=回答 48 件中大阪市 29 件 ⇒その内、総額 2 億円・レセプト件数 200 件以上が 4 件
- \*今はなし=1 件

# 「保留金額が多く困っている」「大阪市は全く機能していない」「かけるたびに担当部署が違って困惑」

\*アンケートに寄せられた意見(一部抜粋)

- ①決定通知が届いてから患者に入院費の請求をさせていただくこともある為、未回収が困難になることもある。レセ請求してから DPC 重症度や平均在日数をさかのぼりで報告しなおすため、業務が増える。
- ②毎月、大阪市保健所へ公費未着のリストを送付し、進捗の問い合わせをしているが、返事にも時間がかかる(約2か月)。保健所としては任意の申請の為、手続きをしていなくても保健所から病院や患者へ連絡しないため、公費が発行されないままのケースがある。
- ③転院など複数医療機関にまたがっている場合、入院情報が登録されておらず、公費番号の通知が届かないことがある。何のために毎日、大阪府に報告しているのか。**大阪市が特に遅い印象**。申請書が返送されないからという理由で何か月も対応が放置されている。こちらから問い合わせしないと動きがない。
- ④公費番号が届かないので、患者さんからも度々費用の問い合わせがあり、迷惑をかけている。
- ⑤入院公費担当へ電話連絡をするも、遅延が当たり前のように対応される。申請書は提出されていても書類不備等の理由のみの回答で、発券希望に対して通知期日は未定としか回答しない。
- ⑥保留金額が多く、困っている。発券の見通しが見つからない。発券依頼をしてもたらい回しで解決にいたらない。
- ⑦未だ番号通知0件。問い合わせをしても「まだです」だけで、いつ頃通知されるか見込みもわからない。現在、コロナ感染が増加していて、28番通知が更に遅れるのではないかと心配。
- ⑧保健所から患者本人宛の送付書類が届かないので、処理できないという回答が多く、病院が迷惑しています。**大阪市も他市のように早く確認して欲しい**です。
- ⑨番号発出の遅れにより、レセプトの請求が滞っており、収益にも影響するので困ります。患者からの問い合わせも多く寄せられている。早急の発出を望みます。
- ⑩**大阪市は入院公費28発行が全く機能していない**。居住地が大阪市以外の入院患者も入院後に発症した場合、入院日が発症以前でも長くなる場合は大阪市管轄になるとのことだが、その連絡もない。把握すら全くしていない。進捗の電話を入れても6か月以上かかるという返答を平気で行う。
- ⑪保健所によって公費申請の手続き方法が違い、患者説明が煩雑になっている。
- ⑫遠方からフォローアップセンターを介して入院があるが、遠方から入院してくる患者は大半が重症で、それに伴って請求金額が高額で長期間の保留レセは病院としても痛い。
- ⑬保留金額が大きく、病院収益に影響が出る。保健所への公費確認の連絡を行っても返答までに時間がかかる。

- ⑭ 申請書・同意書の他に課税証明の提出がない場合など、患者自身が更に提出しなければならない書類があり、審査が滞る。 退院届を提出しているにも関わらず入退院日を確認される。入院フォローアップセンターより依頼されて入院しているのに発生届を確認される。申請者と患者は同一でないといけなと言われるが、記載が本人ができない場合など家族に代筆をしてもらっている。未成年は保護者など細かい取り決めがあるが、対処方法に統一性がない。
- ⑮ 患者側の手続きが滞っているため、番号発出が得られなかったケースがある。病院から説明しているが、単身高齢世帯の場合はスムーズに手続きが行われないケースがある。
- ⑯ 半年以内に決定通知書を出して欲しい。決定通知書に保険番号の記載は不要。いち早く決定通知書を交付して欲しい。生活保護の適用証明の発行については大阪市の部署内で行って欲しい。保健所職員による代行申請は居所不明だけでなく、身寄りのない人、連絡がつかない人、申請書類等提出に非協力の人など、対応する範囲を広げてほしい。
- ⑰ 保健所の電話が繋がらない。市によりますが、担当部署・担当者が明確でなく、いろいろな部署に電話を回される。特に大阪市はかけるたびに担当部署が違って困惑します。
- ⑱ 大阪市の保健所の照会回答の遅延。 公費 28 発出の遅延。申請者(家族など)が動いてくれない。又はいない患者の申請の滞り。新型コロナの療養費が全て無料と誤解させる報道(保険証の提示が不要と思っている)。
- ⑲ 手続き面も面倒だし、認定もまたとても時間がかかる。なんとかならないものか。
- ⑳ 本人が亡くなり、ご子息に申請依頼をしたところ逆ギレされてしまい、申請ができない。保健所に相談したが、家族から申請してもらわないと公費は出せませんと。フォローアップセンターより依頼を受けたが、家族が治療方針に納得せず、退院後数か月で亡くなったとのこと。
- ㉑ 現在保留レセはありますが、大阪市の患者がいたときは、公費発出まで半年かかった。 臨時的取扱いが多すぎて何を算定したらいいのか分からなくなることがある。
- ㉒ 保健所に督促しても直接患者や家族に連絡を取ろうとせず、申請書の送付対応だけで終わっているケースがある。独居の死亡退院された患者の自宅にも送付されたりしているので、指摘をしても家族の連絡先を知らない場合があり、病院側が家族に連絡を取らなければならないときがある。
- ㉓ 公費申請書類の案内は保健所より行っていると思いますが、当院では、レセプトの保留期間短縮の為、病院で申請書類の案内、申請を行っています。身寄りがない高齢者など説明ができない場合、申請が行えず困っています。入院患者さんが増す一方で保留レセプトも件数が増え、総額が多額となっています。